

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ 綱島SST保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：高橋洋子	定員（利用人数）：17名（利用人数：17名）
所在地：〒223-0052	横浜市港北区綱島東4-3-42-107
TEL：045-642- 7301	ホームページ： https://www.gkids.co.jp/facilities/nursery_123.html
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2018年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 グローバルキッズ	
職員数	常勤職員：8名 非常勤職員：1名
専門職員	施設長：1名 保育士：6名
	栄養士：1名 調理師：1名
施設・設 備の概要	保育室：2室 トイレ：1か所
	調理室：1か所 事務室：1室
	園庭：有

③ 理念・基本方針

保育目標

- ① 自己肯定感が高く、何事も全力で楽しむ。
- ② 「やってみよう」を通して、自分を愛する。
- ③ 相手の気持ちに気づき、自分の気持ちを伝えていく。

保育方針

- ① 子どもたちのありのままの姿を愛し、愛着を形成していく
- ② 様々な事を肯定していき、経験する機会を増やしていく
- ③ 気持ちを受け止め、他児の思いを伝えていく

④ 施設・事業所の特徴的な取組

園は最寄りの駅からは10分～15分程度と少し離れていますが近隣には大型商業施設があり、明るく人通りも多く安心できる環境にあります。平成30年4月1日に、野村不動産の地域開発として、サスティナブルスマートタウンの一員として建築されました。

屋外活動の充実…小さな園庭ではありますが日差しが当たるかわいい園庭があります。普段は砂遊びやたいこ橋などで子どもたちは楽しんでます。また、夏には園庭で水遊びやプールも楽しめます。小さな0歳児は園内に清潔な沐浴台もあり、汗を流すことで清潔を保っています。

保育園の周辺には多くの公園があり、春や秋の過ごしやすい季節には十分な戸外活動を楽しむことができます。2歳児ともなると歩く力もついてきて、鶴見川の土手のところまで歩いて遊びに行っています。

保育の重点ポイント

子どもが主体的に選択できるような人的環境、物的環境、環境構成を重んじています。子どもが安心できるスペースを作ったり、信頼して安心できる職員が対応を行ったり、職員のチームワークが大切だと思っています。乳児期に育みたい、愛着の土台をしっかりと培うことのできる保育園と思います。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年5月9日（契約日）～ 令和6年1月5日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2020年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)職員全員のチームワークで、子どもが安心できる保育園となっています
園のホームページに「綱島SST園の魅力は職員の人柄です」と明示しています。乳児期に育みたい愛着の土台をしっかりと培える保育園で、子どもたち、保護者の信頼を得ています。職員同士、オープンに意見を伝えあえる人間関係で、連携や情報共有ができており、クラスの垣根を取り除いて園全体が1つのチームとなっています。小規模園のため、他の職員の良いところを吸収できる環境にあります。給食担当の職員も積極的に保育室に出て、子どもと触れ合い、職員全員で子どもたちを優しく援助しています。

2)食育年間計画に基づき、各年齢に合った食育を実施しています
夏野菜をプランターで育てて収穫しています。トウモロコシは、0歳児は触って確かめ、1～2歳児が皮むきをしています。皮むきをしたトウモロコシが給食に出されると子どもたちは大喜びです。クッキングではスイートポテト作りやお月見だんご作り、クリスマスケーキのデコレーションをしています。スイートポテト作りでは、1歳児がサツマイモを洗い、2歳児がゆでたサツマイモをつぶして砂糖を加え成形します。そして給食室で焼いてもらっておやつとして食べています。親子クッキングではカレー作りにも挑戦しています。豊かな食体験が出来るように工夫しています。

3)保育の専門機関として地域の中での役割を果たすことが期待されます
小規模保育園ということもあり、施設や人員を提供しての地域貢献については難しい状況にあります。その中でも、中期計画や事業計画などで地域とのつながりについての目標を掲げ、積極的に取り組もうと検討しています。今後、在園児の家庭と地域の子育て家庭に向けて同時に発信できる情報などを検討し、WEBを活用するなど、職員負担にならない方法での子育て講座、子育て情報の配信等、保育の専門性を生かした取組に期待します。

4)職員が働きやすい体制の検討が期待されます
園では常勤職員を中心に保育を行っています。変形労働制のため、勤務の状況により労働時間が長くなったり、職員への負担が大きくなっている状況にあります。保育サービスの質を確保するためにも法人と連携を図り、人員補強のための人材確保が期待されます。現状よりもゆとりある人材確保により、安定した働きやすい体制の検討が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

平成30年に開園して2回目の第三者評価を受審しました。日頃子どもたちを中心に保育を行っている中、話し合いやコメントの記入は簡単ではありませんでしたが、保育の運営、保育の見直しや振り返りの機会を設けることができ、受審して良かったと感じています。

一昨年度から保育の質を上げるには、職員間のコミュニケーションの向上ととらえていて、保育者が輝いて働くことができる職場作りに取り組んできました。それぞれの職員が求めている職場環境、保育について学びたいことや考え方は違って当然、無理やり一つにひとくりにしようとはしませんでした。子どもにとっても自由、それを見守る職員にも自由に育ててほしいと育成に努めてきたつもりです。互いの良さがわかりあえたときに、チーム力の向上があると思い、それを自然にできている保育園がグローバルキッズ綱島SST保育園だと思います。

グローバルキッズ綱島SST保育園 高橋洋子

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり